〈連報〉中部の沖釣り情報

予測的中!

一急市場連載-

元日・新月の年は想定外の出来事が…

イオウイナ

"1月の狙い魚"の概況欄で「元日が新月の年は、想定外の出来事が起こる」と書きまし たが、年明け早々から、ダイオウイカに関する新聞報道が 2 週連続してありましたので、 紹介いたします。 **ダイオウイカ**は、生態に謎が多く、大きなものでは体長 20 メートルを 超え、深海に生息するため、釣り人でも、めったにお目にかかれないイカです。

まず、4日(土)には、氷見漁港(富山県)で3メートルが水揚げされ、8日(水)には 佐渡市沖合で、全長4メートルの生きた**ダイオウイカ**が定置網にかかり、水揚げされた後、

死んでしまったとのことです。

ダイオウイカは水深 650~900 メート ルの中深層に生息。 英名は『GIANT SQUID』で、まさに『巨大なイカ』 です。

さて、食べ味に関しては、「アンモニ ア臭く、とても食べられたものでなか った」という評が多く、食用には適さ ないようです。 ダイオウイカなど巨大 な軟体動物は、自身の遊泳力だけでは



[中日新聞 H26 1/4 より]

体を支えきれないことが多く、そのままでは海底へ沈んでしまいます。 そのため、筋肉の 中に蓄えられたアンモニアを使い、体の中を海水と同じ密度にして、海水と吊りあわせな がら水中を移動しています。 そのため、身がアンモニア臭いのです。

これだけ大きな**ダイオウイカ**ですが天敵が居ます。 天敵は、マッコウクジラで、その 胃の内容物からダイオウイカの痕跡が多く発見されること、頭部の皮膚に吸盤の跡やその 爪により引き裂かれた傷が残っていることが多いことがその理由です。

ダイオウイカから始まって、今後も想定外の嬉しい出来事が続出することが望まれます。 < 松岡 隆春 '14.1.10. >